



とするまち しろやま

城山地区コミュニティ協議会では、地域のまちづくりの指針として、平成27年8月に、10年後の将来像やあるべき姿、目標などを取りまとめた「城山地域ビジョン」を策定し、様々な活動に取り組んできました。

このような中、策定から10年目を迎え、少子・超高齢社会やデジタル化の進展、地域コミュニティの低下など地域を取り巻く環境も大きく変化していることから、次の10年先や、将来的なライトライン（LRT）の延伸なども見据え、4つの「柱」と13の「分野」からなる「新たなビジョン」を策定しました。

引き続き、ビジョンに掲げた目標の実現に向けて、各種団体をはじめ、地域の皆様や事業者、行政と連携して、地域活動に取り組んでいきます。

< 4つの「柱」と13の「分野」 >

1 安全・安心

- (1) 防災分野 (2) 防犯分野 (3) 交通安全分野

2 健康・福祉

- (1) 健康・スポーツ分野 (2) 福祉分野

3 地域コミュニティ

- (1) 市民活動分野 (2) 地域情報分野 (3) 環境保全分野 (4) 健全育成分野

4 地域振興

- (1) 観光分野 (2) 地域産業分野 (3) 歴史・文化分野 (4) 景観保全分野

令和7年8月

城山地区コミュニティ協議会
城山地域ビジョン策定委員会

1 安全・安心

【あるべき姿】 世代間のコミュニケーションを深め ともに学ぶ 安全・安心なまち

▶ 防災 分野

目 標 災害に強い、安全安心なまちをつくろう

各地で自然災害が発生している中、地域の防災力を高めるため、「自助」「共助」による取組を推進します。

- (1) 住民一人ひとりの防災意識を高める
 - ・ 防災訓練の実施、防災・救命に関する講習会の開催
- (2) 地域の防災体制を強化する
 - ・ 女性や若者などの自主防災組織への参画、地域の事業者との協力体制の構築、災害時の情報発信の強化、消防団員の確保・育成、「地区防災計画」の策定、「防災マニュアル」の更新



▶ 防犯 分野

目 標 住民が安心して暮らせるよう、地域の防犯力を高めていこう

近年発生しているSNS型投資・ロマンス詐欺や特殊詐欺なども含め、被害の未然防止を図るため、犯罪に合わない環境づくりに取り組みます。

- (1) 社会状況に応じた防犯の意識啓発を行っていく
 - ・ 防犯講習会の開催、防犯チラシによる意識啓発
- (2) 犯罪が起きにくい地域環境をつくる
 - ・ 声掛けやあいさつ運動、防犯パトロール、空き地や通学路の環境整備



▶ 交通安全 分野

目 標 交通事故のない、安全安心な環境をつくろう

大谷街道の拡幅や大谷スマートICの整備などにより、交通量の増加が見込まれるため、安全な交通環境づくりに取り組みます。

- (1) 地域全体で交通安全意識を高めていく
 - ・ 街頭活動による呼びかけ、交通安全教室の充実
- (2) 人、自転車、自動車が安全に通行できる地域をつくる
 - ・ 交通事故危険箇所への看板設置、交通安全グッズの利用促進



2 健康・福祉

【あるべき姿】 支え合い 心豊かに暮らせる 元気なまち

▶ 健康・スポーツ 分野

目 標 運動と健康食で健康増進を図ろう

超高齢社会の進展に伴う健康寿命の延伸や、体力の向上を図るため、運動機会の提供や食生活の改善に取り組みます。

- (1) 誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを推進する
 - ・ 健康運動の実施、スポーツ大会の開催、地域スポーツクラブの参加促進
- (2) 減塩など健康食を広める取組を実施する
 - ・ 料理教室の開催、各種イベントでのPR
- (3) 活動の担い手を確保・育成する
 - ・ 運動指導者の育成、若い世代の食生活改善推進員の確保



▶ 福祉 分野

目標1 車がなくても生活に困らない環境を整えよう

高齢者の免許返納などが進む中、誰もが自由に外出できる環境をつくるため、日常生活の移動手段の確保などに取り組みます。

- (1) 地域内交通「城山孝子号」の安定運営と利便性の向上を図る
 - ・ 利用促進のPR、利便性の向上
- (2) 買物弱者を支援する
 - ・ 支え合い活動などによる買い物支援



目標2 住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくろう

「地域共生社会」を実現するため、高齢者などの交流機会の創出や、お互いが支え合う環境づくりに取り組みます。

- (1) 高齢者の「交流の場」の活性化を図る
 - ・ 「介護予防教室」「いきいきサロン活動」への参加促進、「高齢者等地域活動支援ポイント」の活用促進
- (2) 地域一丸となって支え合い、協力し合う体制をつくる
 - ・ 高齢者の見守りや生活支援、世代や分野を問わない新たな支え合い活動の充実、福祉協力員の全自治会への配置



3 地域コミュニティ

【あるべき姿】 相互信頼と相互扶助の精神に満ち 地域の絆づくりと隣人への思いやりを実践できるまち

▶ 市民活動 分野

目標 地域の絆づくりや助け合いの心を育てるための環境や仕組みをつくろう

地域コミュニティの低下が懸念される中、いつまでも安心して暮らせる「まち」をつくるため、地域の交流や連携を深めます。

- (1) 気軽に集まれる楽しい場をつくっていく
 - ・ 公民館などを活用した住民の交流の機会や居場所づくり
- (2) 地域の一員として一人ひとりが自覚や愛着が持てるよう地域活動を推進する
 - ・ あいさつ運動の推進、若年世代の地域ボランティア活動への参加促進
- (2) 自治会加入を促進する
 - ・ 自治会活動への理解促進、女性や若者の意見反映、デジタル化による会員間のコミュニケーションの活発化、役員の負軽減



▶ 地域情報 分野

目標 多様な住民に情報が届くよう地域の情報発信力を強化しよう

社会全体のデジタル化に対応するため、効果的な地域情報の発信に取り組みます。

- (1) SNSなどデジタルツールの活用を推進し、地域団体や住民等が協力して地域情報の収集や発信を行う
 - ・ 地域ホームページの再構築、情報を発信する人材の確保・育成と組織づくり



▶ 環境保全 分野

目標 みんなできれいなまちをつくろう

快適に暮らせる良好な生活環境をつくるため、環境活動や美化活動に取り組みます。

- (1) 不法投棄未然防止やごみの減量などに取り組む
 - ・ パトロールや警告看板の設置、ごみの減量化・資源化の啓発
- (2) 環境美化を推進し、住みよいまちづくりに取り組む
 - ・ 花いっぱい運動の推進



「城山地域ビジョン」 ホットするまちしろやま

▶ 健全育成 分野

目 標 子どもの地域活動への参加を促進し、地域全体で子どもの健全育成を図ろう

地域の将来を担う子どもたちが、人間性や社会性を育みながら、心豊かで健康に成長できる環境づくりに取り組みます。

- (1) 子どもの地域活動への参加を促進し、様々な体験や世代間交流の機会を充実させる
 - ・ 自治会活動などへの子どもの参加機会の拡大、中学生ボランティアなど子どもや若者が自主的に活動できる環境づくり
- (2) 子どもの安全確保や非行防止に取り組む
 - ・ 環境点検活動の実施、ながら見守り・声かけの実践



4 地域振興

【あるべき姿】 自然と歴史とともに地域が輝き みんなが訪れるまち

▶ 観光 分野

目 標 大谷を起点とした観光まちづくりを推進しよう

大谷を起点として城山全体の観光振興を図るため、大谷商工観光協力会を中心に関係団体が協力して取組を推進します。

- (1) 大谷を起点に城山観光のレベルアップに取り組む
 - ・ 大谷ならではの高付加価値な体験型観光の促進、森林公園や古賀志山などへの周遊性の向上、ライトライン延伸を見据えた観光地づくりの検討
- (2) 効果的な情報の発信と収集を行う
 - ・ 「大谷コネクト」で情報を発信する仕組づくり、地域ホームページでの情報発信、イベントや施設でのアンケートの実施及び取組の改善
- (3) 住民の生活に配慮し観光地づくりを進める
 - ・ 渋滞緩和など観光客と住民が快適に過ごせる環境づくり



▶ 地域産業 分野

目 標 城山の地域産業をPRして盛り上げよう

地域産業の振興に繋げるため、地区内外へのPRに取り組めます。

- (1) 地区内外の人に城山の産業を応援してもらえようPRを行う
 - ・ 観光ツアーやイベントにおける「大谷石産業」や「大谷夏いちご」などの農産物、「みみうどん」などの食のPR



▶ 歴史・文化 分野

目 標 城山の歴史・文化を住民が共有し継承しよう

地域の歴史・文化を後世に残していくため、伝統行事の継承や学ぶ機会の提供に取り組めます。

- (1) 地域の伝統行事などを継承していく
 - ・ 地域の歴史文化にかかわる行事の実施、城山の民話紙芝居の活用
- (2) 住民が地域の歴史や文化に関心を持ち、学ぶ意欲を高める
 - ・ 地域の専門家や団体の協力による勉強会や体験型イベントの開催



▶ 景観保全 分野

目 標 「城山らしいまちなみ景観」をつくろう

地域への愛着や誇りを高めるとともに、観光振興に繋げるため、景観保全に取り組めます。

- (1) 城山ならではの自然景観とまちなみの保全に取り組む
 - ・ 大谷奇岩群の「岩出し」、多気山の御前平の清掃・アジサイ管理、大谷石の建物や石塀の保全、景観形成重点地区（大谷周辺）の推進



お問い合わせ：城山地区コミュニティ協議会 電話 652-5570（城山地区市民センター内）